図で見る

姫路経済

2015

姫路商工会議所

CONTENTS

姫路市の概要……2
姫路市のあゆみ……4
位置・気候……6
市域のうつりかわり……6
人口・世帯数の推移……7
産業構造……8
製造業……9
卸売業……10
小売業……10
港　湾……11
貿　易……11
金　融……12
雇　用……12
交　通……13
住　宅……13
姫路の食材……14
観　光……15
主要プロジェクト……16
景気動向調査結果……18
統計データランキング……20

中核市・姫路市の概要

姫路市は、兵庫県の南西部に広がる播磨平野の中央部にあり、気候風土に恵まれ、地理的条件も良く経済・文化の発展を見た地域です。

市制施行は、明治22年。

戦前戦中においては、軍都であり、また、文教の町、商工都市として大いに発展してきました。

戦後は製鐵を中心とした重化学工業による産業都市へと目覚ましい変貌を遂げ、特に昭和40年代以降はエネルギー基地の装備を経て成長発展しました。

また、数次にわたる近隣市町村の合併を推進しており、平成18年３月には周辺４町を編入合併し、人口53万人の新生「姫路市」が誕生しました。

現在は、さらなる発展を目指し、新たなプロジェクトに取り組んでいます。（主要プロジェクトは16・17ページをご覧ください。）

●市鳥＝シラサギ

●市花＝サギ草

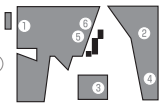
●市木＝カシ

●市蝶＝ジャコウアゲハ

●市名のいわれ

播磨国風土記「日女道丘」（ひめじおか）に由来します。

人　口	534,794人（平成26年10月１日現在）
世帯数	214,928世帯（平成26年10月１日現在）
自然増減数	▲423人（平成26年） 出生4,724人／死亡5,147人
社会増減数	▲630人（平成26年） 転入等13,924人／転出等14,409人
面　積	534.33㎢
事業所数	24,173事業所（平成24年）
製造業	1,108事業所（平成23年） 製造品出荷額等／２兆777億円
卸売業	1,763事業所（平成24年） 卸売業年間商品販売額／１兆681億円
小売業	4,713事業所（平成24年） 小売業年間商品販売額／4,621億円
観光入込客数	915万人（平成26年度）
学校・児童・生徒数	小学校　69校／30,843人 中学校　40校／16,751人 高　校　22校／14,840人
大学・短大数	大　学　２校 短　大　１校 （兵庫県「学校基本調査」）
姉妹会議所	台南市進出口商業同業公会（台湾）
姉妹都市（海外）	シャルルロア市（ベルギー）① フェニックス市（アメリカ）② アデレード市（オーストラリア）③ クリチーバ市（ブラジル）④ 太原市（中国）⑤ 昌原市（韓国）⑥
姉妹都市（国内）	鳥取市（鳥取県） 松本市（長野県）
姉妹城	シャンティイ城（フランス・ロワーズ県）



姫路市のあゆみ

明治22　市制施行（全国で39市、県下で姫路と神戸の２市）。
当時市内の町の数101町、戸数4，815戸、人口24，958人、
面積3．03㎢。
山陽鉄道、姫路～龍野間開通。
27　播但鉄道、姫路～寺前間開通。
28　播但鉄道、姫路～飾磨港間開通。
29　陸軍第10師団設置。
41　市内電話開通。

開設当時の山陽鉄道

大正 5　姫路駅～野里間乗合自動車運行開始。
11　姫路商業会議所開設（昭和29年４月１日、現行法による特殊法人姫路商工会議所となる）。
15　全国産業博覧会開催。

昭和 4　上水道給水開始。
姫津線一部開通。
6　姫路城国宝に指定。
16　山陽電鉄網干線開通。
17　NHK姫路ラジオ中継所開設。
19　県立兵庫工業専門学校（現 兵庫県立大学）神戸で開校。

戦後復興がめざましい御幸通り

20　太平洋戦争第１次被爆（川西航空姫路工場、山陽皮革工場を中心に城東地区爆撃される）。
第２次被爆（市の中心部を含む広範地域が焼失する）。
21　新しい姫路市誕生（姫路市、飾磨市、白浜町、広畑町、網干町、大津村、勝原村及び余部村を廃止し、その地域をもって新しく姫路市を置く）。
24　新制姫路工業大学開校。
26　市立動物園開園。
29　名古山霊苑に仏舎利奉迎（インド・ネール首相から贈られる）。
山陽電車高架乗り入れ開始。
30　大手前通り（50メートル道路）完成。
31　第11回国民体育大会（本市で、高校ソフトボール、バレーボールを行う）。
32　市営中央卸売市場竣工。
33　国鉄山陽本線、明石～姫路間電化。
34　姫路港開港指定。
国鉄山陽本線、姫路～上郡間電化。
姫路民衆駅竣工。
35　NHK姫路放送局開設。
39　姫路城天守閣解体復元工事完成。
40　姫路～東京間即時通話開始。
木材港（網干）開港。
ベルギー・シャルルロア市と姉妹都市提携。
41　姫路大博覧会開催。
市花「サギ草」制定。
松本市と姉妹都市提携。
42　姫路港、特定重要港湾に指定。
47　山陽新幹線、大阪～岡山間開通。
鳥取市と姉妹都市提携。
市木「カシの木」制定。
48　播但連絡自動車道一部開通。
50　姫路国道バイパス全線開通。
51　アメリカ・フェニックス市と姉妹都市提携。

改修中の天守閣

52 東洋大姫路高校、第59回全国高校野球選手権大会優勝。
55 国鉄播但線高架事業着工。
57 オーストラリア・アデレード市と姉妹都市提携。
58 県立歴史博物館オープン。
市立美術館オープン。
㈶西播地域地場産業振興センターオープン。
59 LNG基地操業開始。
国鉄播但線高架完成。
60 工場立地促進条例施行。
61 大手前通りが「日本の道百選」に選ばれる。
62 姫路獨協大学開学。
中国・太原市と姉妹都市提携。
63 姫路城とフランス・シャンティイ城、姉妹城提携。
平成元 市制100周年を迎える。
シロトピア博開催。

シロトピア博

2 日本城郭センター（城内図書館）オープン。
3 「鉄道高架化事業」本格始動。
西播磨テクノポリスで大型放射光施設の建設始まる。
4 姫路ケーブルテレビ「WINK」開局。
5 姫路城が日本で初めて世界文化遺産に指定。
7 1月17日阪神淡路大震災。
8 姫路市が「中核市」になる。
9 大型放射光施設「SPring-8」供用開始。
12 韓国・馬山市（現：昌原市）と姉妹都市提携。
13 市街地再開発ビル「イーグレひめじ」完成。
15 「環境・リサイクル経済特区計画」が特区第1号に認定。
16 観光なびボートオープン。
「ザ 祭り屋台 in 姫路」を開催。
17 JR「ひめじ別所駅」が開業。
姫路ものづくり支援センター開設。
18 JR山陽本線高架開通。
家島町、夢前町、香寺町、安富町の4町を編入合併。
姫路商工会議所まちづくりステーション「街の駅」開設。
「のじぎく兵庫国体」を開催。
19 姫路商工会議所、台南市進出口商業同業公会との姉妹提携締結。
近大姫路大学開学。
20 JRはりま勝原駅開業。
第25回全国菓子大博覧会・兵庫「姫路菓子博2008」開催。
JR姫新線・播但線高架化完了。
姫路城、世界遺産登録15周年。築城400周年。
21 新観光案内所（姫路観光なびポート）オープン。
姫路市イメージキャラクター（しろまるひめ）誕生。
姫路城大天守保存修理事業に着手。
22 世界最大級の液晶パネル工場が稼働開始。
23 姫路城大天守修理見学施設「天空の白鷺」をオープン。
「B-1グランプリ in 姫路」を開催。
24 姫路商工会議所まちづくりステーション「街の駅」移転オープン。
姫路商工会議所創立90周年記念式典・祝賀会を開催。
25 姫路駅北駅前広場にサンクンガーデン、展望デッキ等が完成。
26 大河ドラマ「軍師 官兵衛」放映開始。
27 「世界遺産姫路城マラソン2015」開催。
姫路城グランドオープン。

位置・気候（平成26年）

平均気温／15.3℃
最高気温／36.0℃
最低気温／-2.9℃
年間降水量／1156.5ミリ
（資料：気象庁）

東経　134度41分
北緯　34度49分

市域のうつりかわり

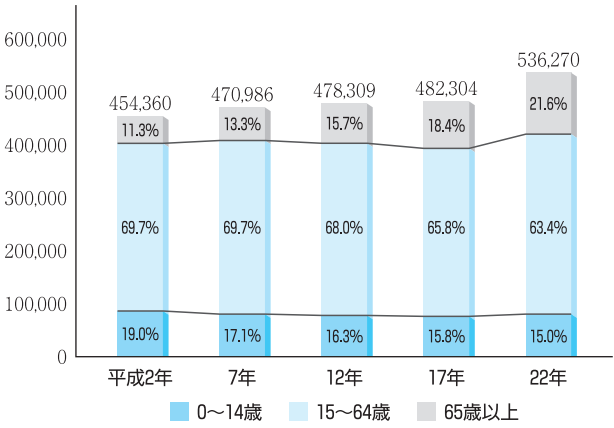
明治22年／市制施行
昭和21年／飾磨市、広畑町、網干町、勝原村、大津村、余部村、白浜町と合併
昭和29年／曽左村、余部村、太市村、糸引村、八木村と合併
昭和32年／花田村、四郷村、御国野村、別所村が合併
昭和33年／神南町、飾東町、的形村が合併
昭和34年／大塩町が合併
昭和42年／林田町が合併
平成18年／家島町、夢前町、香寺町、安富町が合併

面　積
534.33㎢

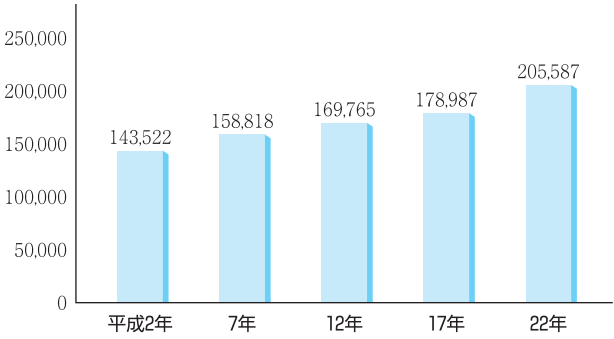
人口・世帯数の推移

※平成18年に４町と合併。

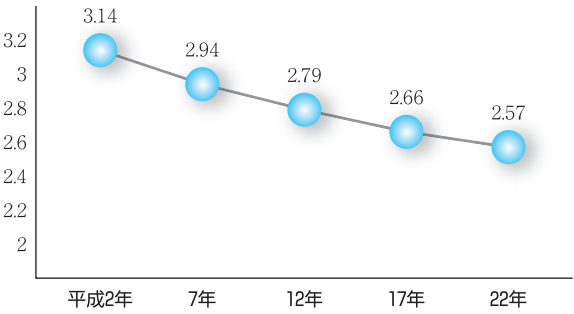
●人　口



●世帯数



●１世帯あたりの人員（一般世帯）

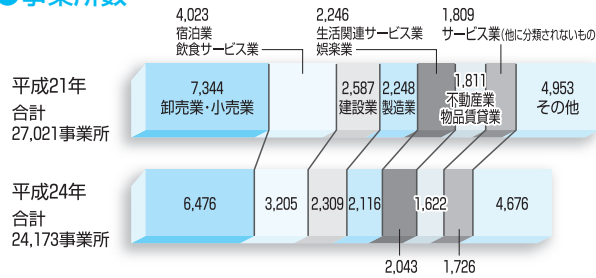


（資料：総務省「国勢調査」）

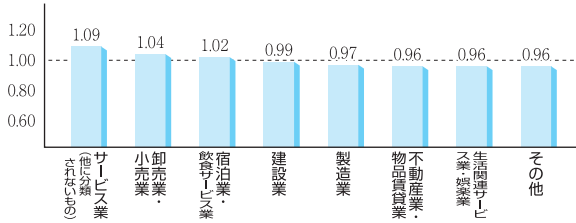
産業構造

播磨地域の中核都市としての姫路の産業は、臨海部に立地する鉄鋼、化学、電気機械などの重工業と活発な商業活動により発展してきた。こうした経済基盤のもと、産業構造も変化しつつある。

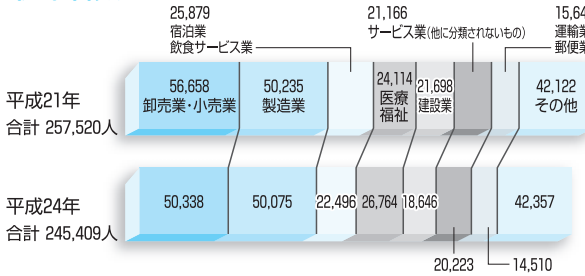
●事業所数



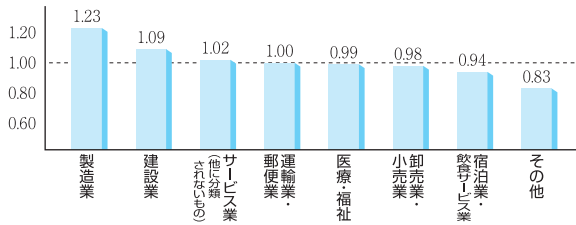
特化係数



●従業者数

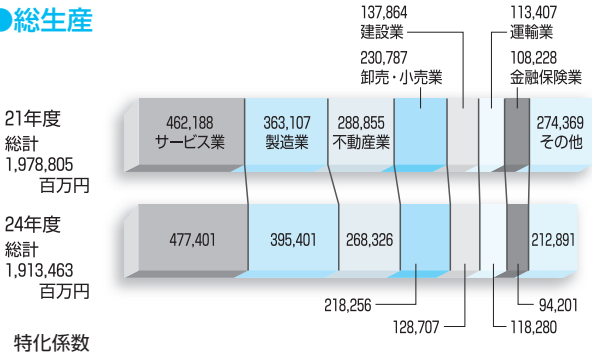


特化係数

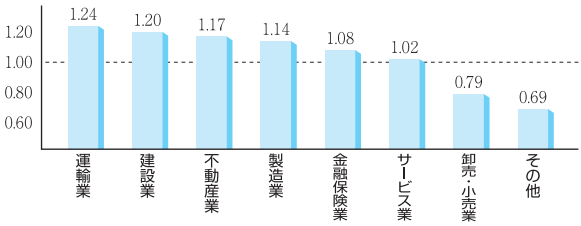


(資料：総務省・経済産業省「平成21年経済センサス－基礎調査」「平成24年経済センサス－活動調査」)

●総生産



特化係数



（資料：内閣府「国民経済計算」、兵庫県「市町民経済計算」）

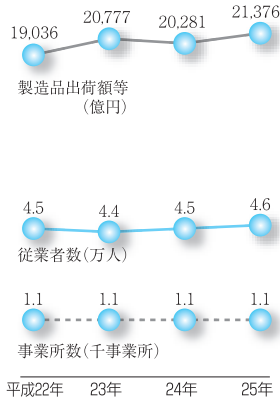
特化係数：各項目について、姫路市の構成比を全国の構成比で割って算出する。
数値が１より大きければ、全国に比べて特化している。

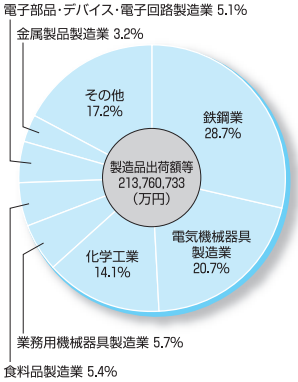
製造業

（従業者数4人以上の事業所）

平成25年の製造業は、1,077事業所、従業者数45,915人となっている。また、製造品出荷額等は２兆1,376億円で、これを産業別にみると鉄鋼業6,133億円と最も多く、ついで電気機械の4,432億円となっている。

平成25年年間製造品
出荷額等構成比（%）

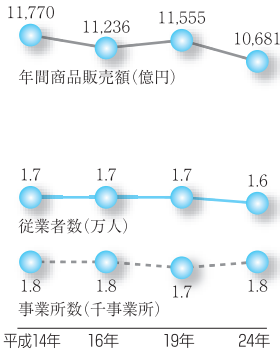




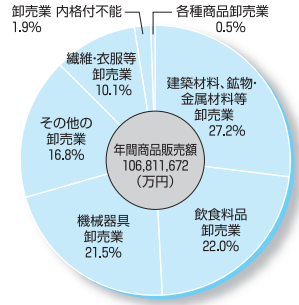
（資料：経済産業省「工業統計調査」）

卸売業

平成24年の卸売業は、1,763事業所、従業者数15,874人となっている。また、年間商品販売額は1兆681億円で、これを業種別にみると建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が2,908億円と最も多く、続いて飲食料品卸売業が2,352億円、機械器具卸売業が2,296億円となっている。



平成24年年間商品販売額構成比（%）

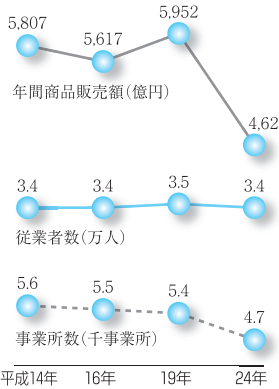


（資料：経済産業省「商業統計調査」）

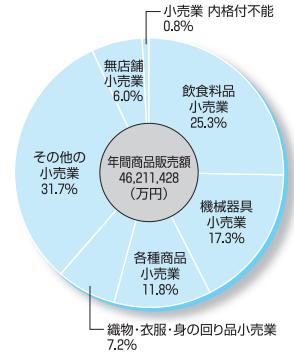
※平成24年の数値は「平成24年経済センサス－活動調査」に基づく「姫路市統計要覧」より

小売業

平成24年の小売業は、4,713事業所、従業者数34,464人となっている。また、年間商品販売額は4,621億円で、これを業種別にみると飲食料品小売業が1,170億円と最も多く、続いて機械器具小売業が797億円、各種商品小売業が543億円となっている。



平成24年年間商品販売額構成比（%）



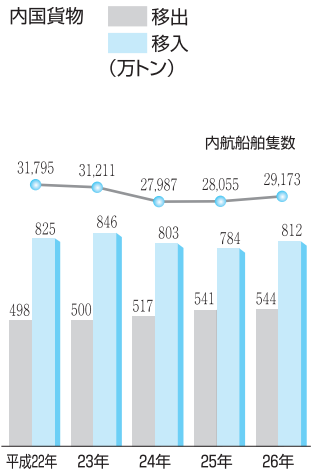
（資料：経済産業省「商業統計調査」）

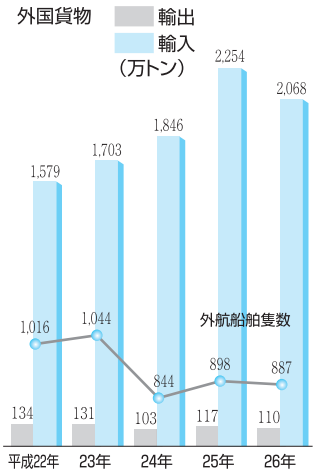
※平成24年の数値は「平成24年経済センサス－活動調査」に基づく「姫路市統計要覧」より

港湾

姫路港は、瀬戸内海の東部、播磨地域のほぼ中央に位置する国際拠点港湾であり、東西18kmにわたっている。姫路港が年間に扱っている海上貨物は、輸移出量653万トン、輸移入量2,880万トンで、背後地にある重化学工業地帯への原材料補給港としての割合が大きい。入港船舶数は、隻数30,060隻、総トン数2,848万トンとなっており、うち外航船舶数では、3.0%に過ぎないが、トン数では64.2%と半数以上を占めている。(※平成26年速報値)

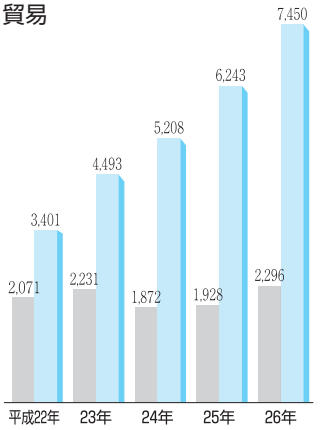
出入貨物・入港船舶





(資料:兵庫県「兵庫県港湾統計年報」)

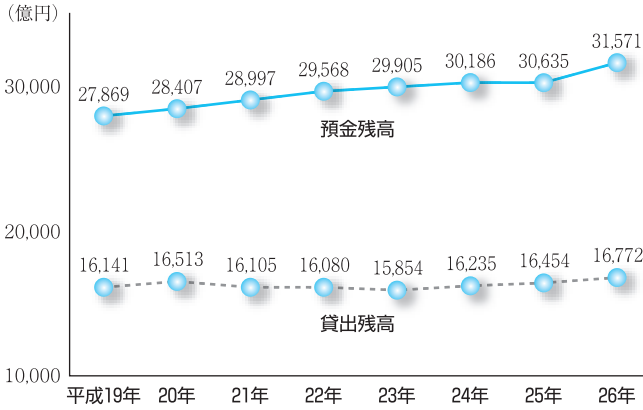
貿易



(資料:神戸税関「神戸税関貿易概況」)

金融

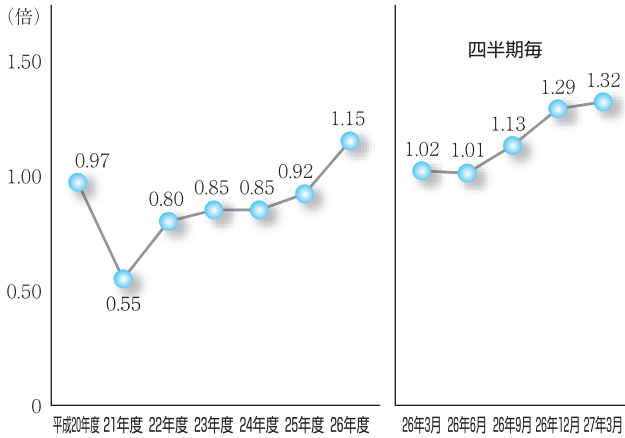
預金残高と貸出残高の推移（億円）
（普通銀行＋信用金庫）



（資料：神戸銀行協会、各信用金庫）

雇用

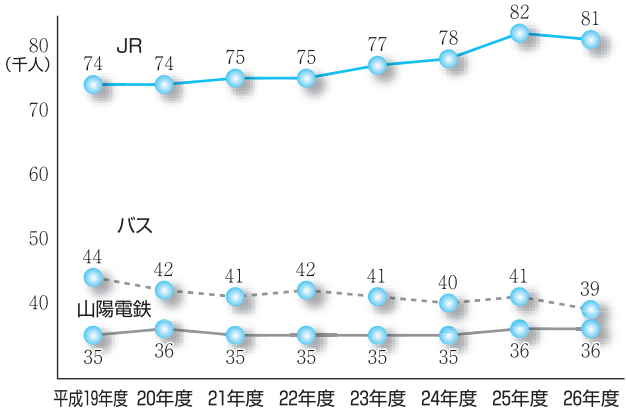
有効求人倍率の推移（倍）
（一般＋パート）



（資料：姫路公共職業安定所）

交通

交通機関の利用状況の推移（１日平均:千人）

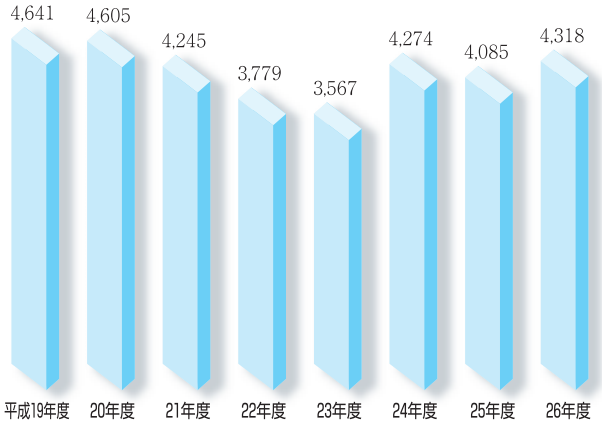


※JR・山陽電鉄・バス（市営・神姫）とも、市内各駅の合計で表示。
平成22年3月27日にすべての市営バス路線を神姫バスに移譲しました。

（資料：JR西日本、神姫バス、姫路市）

住宅

新設住宅着工件数の推移（戸）



（資料：国土交通省「建築着工統計調査」）

姫路の食材

姫路市は、北は中国山地に面しており、南は瀬戸内海の家島まで、多様な風土と自然条件に恵まれている。

播磨平野は穀倉地帯であるとともにタケノコ、レンコン、ユズ、モチムギ、小豆、軟弱野菜、酒米等の特徴ある農業生産が盛んに行われ、豊穣な瀬戸内漁場では多種多様な魚介類等の漁獲が進められている。

だいこん　なす　ピーマン　キャベツ　にんじん　トマト　ねぎ　ほうれんそう　しゅんぎく　スイートコーン

たけのこ　レンコン　しいたけ　えのき　採卵鶏　ブロイラー　肉用牛　乳用牛　丹波黒　酒米

大麦・小麦　くり　ぶどう　いちじく　もも　いちご　茶　花壇苗　うめ　きく

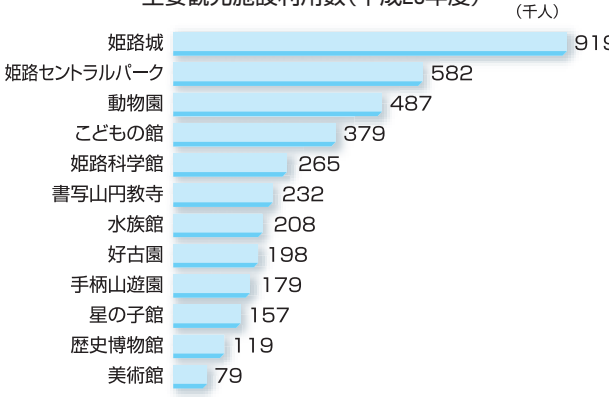
カキ　ガザミ　エビ　アナゴ　サバ　タイ　タコ　ノリ

（資料：兵庫県）

観光

平成26年度に姫路市を訪れた観光客数は915万人を数えた。日本で初めて、世界文化遺産に指定された「姫路城」を中心に様々な観光施設がある。

主要観光施設利用数（平成26年度）



（資料：姫路市「平成26年度姫路市入込客数、観光動向・イベントアンケート調査報告書」）

姫路の主要プロジェクト

●地方創生

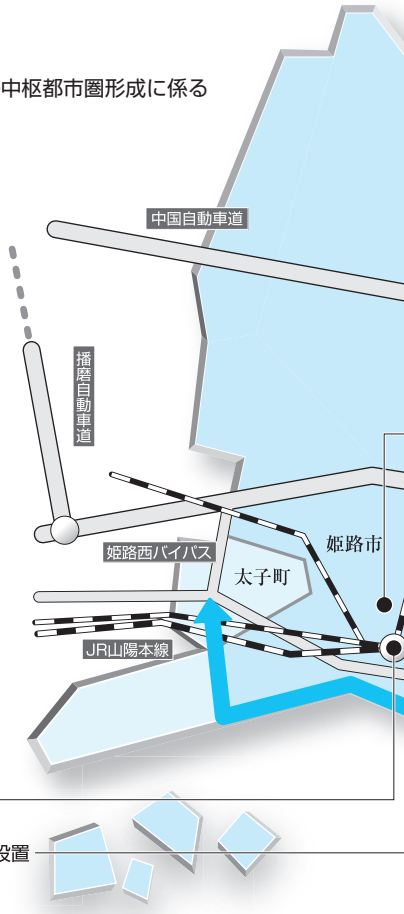
本市の人口動向を分析し、将来展望を示す「ひめじ創生人口ビジョン」と、今後５か年の目標や施策の基本的な方向性を提示する「ひめじ創生総合戦略」の策定に向けた取り組みが進められています。

●連携中枢都市

播磨圏域の６市８町と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結しました。

●中心市街地活性化

平成27年３月に新たな中心市街地活性化基本計画の認定を受け、４月から「人々が行き交いまちの鼓動が聞こえる城下（まち）」をテーマとして第２期計画がスタートしました。今後５年間、タウン・エリアマネジメントを視野に入れた取り組みが行われていきます。



①姫路駅周辺地区整備事業「キャスティ21」

姫路駅周辺地区において、「播磨の玄関口としてふさわしいまち」を目指し整備が行われています。機能別にエントランス・コア・イベントゾーンの３エリアで構成されており、これまでは新駅ビルや駅前広場等、エントランスゾーンを中心に整備が行われてきました。また、南駅前広場についても交通結節機能の向上に向けた再整備が検討されています。

②大手前通り再整備

姫路駅北駅前広場のリニューアルに伴い、当市のシンボルである大手前通りの再整備が進んでいます。現在、十二所前線と交差する南側のエリアが完成し、十二所前線以北については、引き続き整備の検討が行われています。

③姫路城グランドオープンを活かした観光の振興

平成21年10月より約５年の歳月をかけ屋根瓦および外壁の補修、構造補強を行った工事が終了し、平成27年３月27日にグランドオープンを迎えました。今後、さまざまな観光施策が展開されます。

④JR姫路駅・御着駅間の新駅設置

開発が進むキャスティ21地区や阿保土地区画整理区域などの周辺市街地の土地利用の促進や、周辺住民の利便性および周辺公共施設へのアクセスの向上を目的として設置されます。開業は平成28年春頃の予定です。

⑤播磨臨海地域道路網

播磨臨海地域道路は、全長約50㎞におよぶ道路で、国道２号バイパスの渋滞解消の切り札として、整備が必要不可欠となっています。

この道路を核として、播但連絡道路や国道２号バイパスとの接続道路などの南北交通を含めた道路ネットワークが、播磨臨海地域道路網構想です。

平成26年度 第1～4四半期
姫路市内景気動向調査結果

調査要綱

1．調査日

第１四半期調査：平成26年６月20日～７月３日
回答率 30.9%

第２四半期調査：平成26年９月17日～30日
回答率 30.4%

第３四半期調査：平成26年12月16日～平成27年１月５日
回答率 28.1%

第４四半期調査：平成27年３月12日～26日
回答率 26.5%

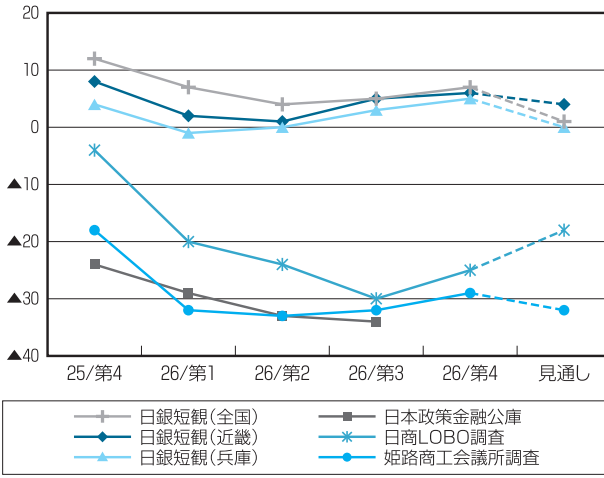
2．調査対象企業

姫路市内に本店を置き、FAX番号登録のある当所会員事業所

回答企業の構成　規模別では、「従業者数50人以下」の事業所が全体の約90%を占めた。業種別では、「建設業」「製造業」「卸売業」「小売業」「サービス業」で全体の約85%を占めた。

日銀短観等と姫路の業況のDI

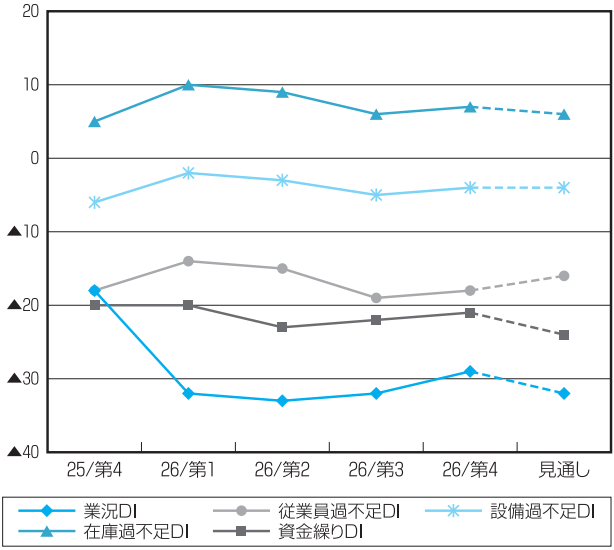
DI値：diffusion index（ディフュージョンインデックス）の略称。
景況についての項目を「良い」割合から「悪い」割合を引いた値をもとに作成。



●日銀短観との比較

数値に開きはあるものの、日銀短観（全国・近畿・兵庫）とほぼ同基調で推移している。

項目別DI値の推移



	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	見通し
業況DI	▲32	▲33	▲32	▲29	▲32
従業員過不足DI	▲14	▲15	▲19	▲18	▲16
設備過不足DI	▲ 2	▲ 3	▲ 5	▲ 4	▲ 4
在庫過不足DI	10	9	6	7	6
資金繰りDI	▲20	▲23	▲22	▲21	▲24

●第4四半期 概況より

業況DIは前期から3ポイント上昇の▲29で、2期連続上昇となり、消費税率引き上げの影響から回復しつつある。来期の見通しは、▲32となり、慎重な見通しとなっている。

●設備投資計画（「翌期に設備投資計画あり」と回答した割合）

第1四半期 13.0%　　第2四半期 11.8%
第3四半期 14.0%　　第4四半期 15.2%

●経営の関心事・問題点

「人材育成」、「業界動向」、「需要減少」、「資金繰り」、「競争激化」、「雇用」に高い関心が集まっている。従業員不足を反映して、「人材育成」や「雇用」に上昇傾向がみられる。

詳しい調査結果は姫路商工会議所ホームページ
（http://www.himeji-cci.or.jp）をご覧ください。

姫路市の統計データ・ランキング

ランキングの対象は813市区

面積・人口・世帯	姫　路　市	
面積	130位	534.33㎢
人口（住民基本台帳）	30位	533,868人
世帯数（住民基本台帳）	35位	223,346世帯

財政力		
経常収支比率	64位	82.8%
公債費負担比率	412位	15.0%
実質公債費比率	277位	7.9%
将来負担比率	373位	42.4%
財政力指数	161位	0.84

経済力		
事業所数	30位	24,287事業所
従業者数	31位	250,990人
上場企業本社	31位	15社
製造品出荷額等	14位	21,376億円
卸売業年間販売額	41位	10,226億円
小売業年間販売額	37位	4,491億円
大型店店舗数	27位	92店
大型店店舗面積	27位	467,640㎡

マンパワー・生活基盤等		
労働力人口	30位	259,873人
納税者１人当たり所得	184位	315.2万円
世帯当たり乗用車保有台数	507位	1.25台
人口１万人当たり病院数・一般診療所数	357位	8.21所
人口１万人当たり医師数	263位	20.81人

（資料：東洋経済新報社「都市データパック2015年版」）

姫路商工会議所

〒670-8505 姫路市下寺町43番地
TEL.(079)223-6550
FAX.(079)288-0047